

(1)保存地区の概要

地 区 名 黒石市中町

選定年月日 平成17年7月22日

種 別 商家町

面 積 3.1ヘクタール

特 徴 中町は、明暦2年(1656)に津軽信英(のぶふさ)が黒石津軽家を創立した際に整備された町である。中町の通りは、北は青森、南は弘前藩領へと繋がっていたことから、交通の要所として栄え、商家町が立ち並び、現在もその名残をとどめている。

この地区の最大の特徴は、主屋の道路側に「こみせ」と呼ばれる庇が設置されているということにある。「こみせ」建築年代は定かではないが、信英が町割りをしたときに作らせたと伝えられている。この「こみせ」が並ぶ町並みは、最盛期には約4.8kmもの長さに及んだが、度重なる火災や社会の変化に伴い、その大部分が消失してしまった。しかし、中町の通りだけは、伝統的な「こみせ」が連なって残されており、貴重である。



(2) 保存地区のあゆみ

昭和58年度(1983) 伝統的建造物群保存調査を実施
『黒石の「町並み」』刊行(3月)

昭和61年度(1986) 「日本の道百選」に選定

平成12年度(2000) 「こみせ観光ボランティアガイドの会」発足

平成13年度(2001) 保存地区調査を財団法人日本ナショナル
の観光資源保護調査とし実施
『黒石「こみせ」の町並み』刊行(3月)

平成15年度(2003) 「黒石市歴史的景観保存条例」制定

平成16年度(2004) 伝統的建造物群保存地区に指定
中町に隣接する前町、浜町を景観形成地区に指定
「黒石市歴史的景観保存事業補助金交付要綱」制定
「黒石市中町伝統的建造物群保存地区保存計画」の制定

平成17年度(2005) 「黒石市中町伝統的建造物群保存地区」
を重要伝統的建造物群保存地区に選定(7月)

平成18年度(2006) 保存事業・修理事業開始
地区内に標柱2基、説明板1基設置

平成19年度(2007) 「黒石市中町伝統的建造物群保存地区
防災計画」を策定

平成20年度(2008) 旧松の湯を買上げ

平成21年度(2009) 伝統的建造物群保存事業・防災対策事業開始

平成24年度(2012) 「防火設備取扱講習会」の実施を開始

平成27年度(2015) 「松の湯交流館」開館

平成28年度(2016) 第63回文化財防火デーを実施

平成29年度(2017) 電線地中化・道路美装化に伴う工事
(～令和2年度)

令和4年度(2022) 電線地中化推進事業の実施
(～令和12年度)



松の湯交流館

(3) 保存地区の保存と整備

【実施件数】

単位＝件

	修理	修景	防災	買上	公開 活用	地域 活性化	無電柱 化等	合計
平成18年度	1		1					2
平成19年度	1							1
平成20年度	2			1				3
平成21年度	1			1				2
平成22年度	2		1					3
平成23年度	1							1
平成24年度	1				1			2
平成25年度	1		3			2		6
平成26年度	1	1	3			1		6
平成27年度	1		2			1		4
平成28年度	2		1					3
平成29年度	2		3				2	7
平成30年度								0
令和元年度	1							1
令和2年度	1							1
令和3年度	3							3
令和4年度	1							1
令和5年度								0
令和6年度	1			1				2
令和7年度	2							2
合計	25	1	14	3	1	4	2	50

【修理事業の例】



【電線地中化事業・道路美装化事業】



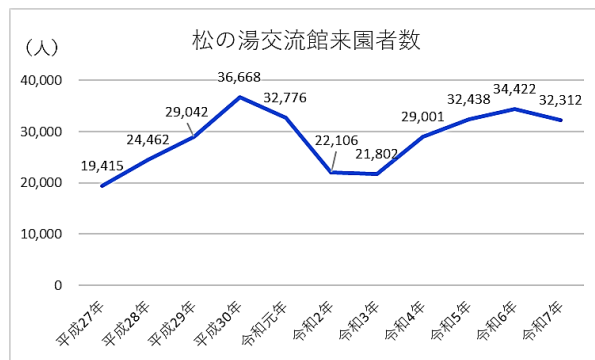
【防災事業の例】



(4) 保存地区の活用とまちづくり

①旧松の湯の再生事業

平成20年、中町に所在する「旧松の湯」を市で買い取り、整備を実施。平成27年に観光、コミュニティ、地域防災を担う施設として「松の湯交流館」を開館した。イベントなどを多数実施し、地域住民や観光客など、多くの人に利用されている。



②地区の活用

7月に行われる「クラシックカー青森ミーティングinこみせ」や、9月に実施される「こみせまつり」など、歴史的町並みを活用した行事が毎年多数行われている。また、伝統行事である「黒石ねふた」や「黒石よされ」のコースにもなっており、多くの観光客が訪れている。



(5) 住民等の取組

①こみせ保存会の活動

中町伝統的建造物群保存地区及び景観形成地区の保存・修復に関する支援と保全に努めるとともに、まち育てに寄与することを目的に、平成18年度に設立された。

主な活動内容は、こみせ通りの保存・修復に関する学習や研究会をはじめ、他の伝統的建造物群保存地区の視察研修などである。

②NPO法人横町十文字まちそだて会

中町を含めた中心市街地を活性化されることを目的に、平成24年に設立された会で、平成26年にNPO法人化。会員には中町の住民や、地区で商売を行っている人もいる。

主な活動として、中町にある「松の湯交流館」の指定管理者として館の運営や、イベントの実施、まち歩きツアーなどを積極的に行っている。

